

会 議 録 要 旨

会 議 名	令和5年度 第1回 大垣市介護保険運営協議会
場 所	大垣市役所 4階 情報会議室
日 時	令和5年7月12日 13:30～14:50
出 席 者	委員 14名 (別紙に記載) (事務局) 健康福祉部長 介護保険課：課長、主幹3名、主査1名 高齢福祉課：課長、主幹5名 保健センター：所長、主幹1名
司 会	皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、令和5年度大垣市介護保険運営協議会の第1回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は本日の司会を務めさせていただきます、介護保険課長の冨永でございます。よろしくお願いいたします。 それでははじめに、沼口会長様よりごあいさつをお願いいたします。
会 長	《 挨拶 》
司 会	ありがとうございました。次に次第の3、「委員の紹介」に移らせていただきます。 委員の皆様方につきましては、本来であればお一人ずつご紹介させていただくところでございますが、時間の関係上名簿でのご紹介に代えさせていただきますのでご了承賜りたいと存じます。名簿はお手元の会議資料1ページ、資料No.1につけさせていただいております。 なお、このたび大垣歯科医師会の片野委員が退任され、馬淵直樹様に新たに委員に就任いただきましたのでご紹介させていただきます。 また、本日の会議には飯尾委員様からご欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。  次に次第の4、「議題」に移らせていただきます。これよりの進行につきましては沼口会長をお願いいたします。
会 長	議事に入ります前に、本日の会議につきましては個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。 本日は傍聴の方がお1人いらっしゃいます。中にお入りください。それではこれより議事に入ります。はじめに議題の(1)、大垣市高齢者福祉計画(第8期介護保険事業計画)の進捗状況について、事務局から説明をお願い

会 議 録 要 旨

	<p>いたします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>《資料No.2 により説明》</p>
<p>会 長</p>	<p>ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>2点質問させていただきます。1点目は介護保険のサービス利用状況についてです。利用者数の実績は計画値を上回っているにもかかわらず、給付費実績は計画値を下回っている原因をお聞きしたいです。</p> <p>2点目は介護予防自主サークル数が目標値をクリアできなかったということですが、コロナ禍ですごく頑張られたという評価の方がいいのかなと思っています。これらの団体は、登録だけして活動していないのか質問させていただきます。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>1点目につきましては、要介護認定者について、計画値よりも軽度者が多かったことが要因の一つと考えております。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>2点目の介護予防自主サークルにつきましては、登録のみではなく活動もされています。世話役の方の高齢化や、コロナ禍で活動ができないため解散される団体もある中で、シルバーリハビリ体操指導士の養成を令和2年度から始めて、現在55人となっています。その方々が自主サークルを立ち上げるお手伝いを継続的にさせていただいております。</p>
<p>委 員</p>	<p>ひとり暮らし高齢者台帳登録者は約2,900人ある一方で、緊急通報装置の設置台数は約800台で、すべての方に届いているわけではありませんが、今の状況をそのままよいと考えていますか。</p> <p>もう1点は、介護サービス相談員派遣事業について、相談員はケアマネとは違う立場で、今後サービスを受けようとしていてケアマネが決まっていない方の入口として相談を受けているのでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>ひとり暮らし高齢者台帳登録者数と緊急通報装置設置台数の差について、台帳登録されている方に対しては、緊急通報装置の利用の周知を地域で民生委員さん等を通じて声掛けをしていただいております。市としても利用を促しておりますが、必要はないと考える方はいらっしゃいます。</p> <p>また、令和2年度から4年度にかけて設置台数が減っておりますが、長</p>

## 会議録要旨

期入院されている方や施設入所された方に対して、利用継続の意思確認を行いまして、利用者の精査を行ったために件数が減少しております。

緊急通報装置の設置はひとり暮らし高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、大きな役割を持っていると考えておりますので、今後とも積極的に周知を進めてまいりたいと思っております。

委員 緊急通報装置を利用されない理由は伺ってみえますか。

事務局 すべての方に確認をしているわけではありませんが、ご相談があった際に、まだ必要がないと言われることはあります。

事務局 もう1点、介護サービス相談員派遣事業につきまして、派遣先は主に介護老人福祉施設や介護老人保健施設の施設になっております。

相談員はケアマネではなく、市に登録いただいた一般市民の方で、施設利用者の声を聴き取る役割を担っていただいております。

コロナの影響で訪問に制限があり Web 等代替手段をとっておりましたが、5類感染症移行に伴い随時訪問に切り替えています。

委員 利用者についてはどのように抽出していますか。

事務局 訪問の場合は相談員が無作為に声をかけています。Web の場合は施設側に利用者を紹介していただいております。

委員 小規模多機能型居宅介護について、計画と実績に開きがあると感じます。個人的に非常に良い制度だと考えていますが、実績が少ないのはどのような理由でしょうか。

名前からサービス内容がわからないことや、一般的にはまだよく知られていないことが理由ではないかと考えますがいかがでしょうか。

事務局 事業所数が増えていないことが理由の1つです。小規模多機能型居宅介護は市としても必要なサービスと考えておりますので公募をしておりますが、昨年度の公募に対して応募はありませんでした。

委員 先ほどのご発言にあったように、名前自体がわかりにくいいため、もっと良い表現はないかということは以前から申し上げます。

小規模多機能型居宅介護の利用が増えない理由の1つとして、サービス

## 会議録要旨

を利用する際にケアマネを変えなくてはならない点がネックとなっています。

以前事業者連絡会で小規模多機能型居宅介護のPRを図りましたが、利用者としてはケアマネが変わることが気になるとか、サービスを1から始めなくてはならない点で家族がためらうことで、サービス利用に繋がらないようです。また、入所しやすく、生活も落ち着きやすい有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅が増えていることも一つの要因と考えられます。

小規模多機能型居宅介護は本当に良いサービスだと思いますが、利用者や家族の事情から利用に結びつかないところがあります。

委員 介護サービス相談員事業について、なかなか本音で利用者の意見を言えないと聞いたことがあります。こうしてほしいという提案は施設に対しての指摘に繋がると考える方もいるため、利用者としては言いづらいこともあり、その辺りが難しいということでした。

資料にはサービスの向上とありますが、具体的に改善が行われた例があれば教えてください。

事務局 具体例ではありませんが、コロナ禍で相談員事業を中止している自治体もあるようですが、閉鎖的になりがちな状況の中で、本市としては事業を継続し施設の中の様子を伝えていただくことで、施設に対しての抑制効果が働いている点はよかったのかなと思います。

会長 時間の都合もありますので、もしほかにご質問がありましたら最後に改めてお願いします。

会長 次に、議題の(2)、大垣市高齢者福祉計画（第9期介護保険事業計画）策定のためのアンケート調査結果について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 ≪資料No.3により説明≫

会長 ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

委員 「介護ロボットやICT機器を導入していますか」という設問がありま

会 議 録 要 旨

すが、介護ロボットは介護者の負担を減らすのが目的で、ICTは情報のやり取りが目的であり、別物として扱っていただいたほうが、状態がよくわかると思います。次回アンケートを取る際は分けていただいた方が良いでしょう。

事務局           ご指摘いただき、ありがとうございました。

委 員           人生会議について、以前にサロンで取り扱おうとしたときに、堅苦しい話として敬遠されたことがあります。また、そのような話題を考えたくないという意見もありました。人生会議という言葉自体が堅いのでもう少し親しみの持てる言葉に変えた方がいいと思います。

事務局           人生会議については厚労省で決められている言葉で、我々もそれを使っているところです。確かに堅苦しさや、その内容から啓発しにくい面もありますが、医師会に委託している在宅医療介護連携推進事業において人生会議部会を設置し、介護サービス事業者連絡会の介護フェアで講演会を開催したり、一般市民向けの出前講座等の場面で普及啓発を進めたりしているところです。

事務局           人生会議は厚労省の表現ですが、人生会議は正式名称として、大垣市独自の呼び方としてよい名称があれば教えていただきたいです。

委 員           芭蕉在宅ネットについて、知っている人が多いにもかかわらず、利用している人はすごく少ないのはなぜでしょうか。実際に会ったり電話をしたりしなくても情報を共有できるのであればもっと利用されてもよい気がします。何がネックになっているのでしょうか。

事務局           こちら先ほど申し上げました在宅医療介護連携推進事業においてICT部会を設置し、市内の医療機関や介護サービス事業者等に周知し、利用についての啓発をしております。また、オープンセミナーという形で未利用事業者にPRをしたり、ケアマネを対象とした勉強会を企画したりしており、今後利用が進むことを期待しております。

委 員           補足になります。よいシステムなので多職種で利用が進むことを願っているところですが、まだまだケアマネが医療分野と向き合うことについてプレッシャーを感じなかなか踏み込めないということと、ケアマネも高齢

## 会議録要旨

化しており、ICTに対し苦手意識を持ち利用に至らないところがあると思います。少しずつ解消していければ嬉しく思います。

委員

医療分野から始まりケアマネが加わってからはそれほど経っていないので、温かい目で見守っていただきたいと思います。何を書けばよいかわからないなどの意見もありますが、難しく考えず利用者とどんな話をしているか少しでも書いてもらいたいと思っています。

委員

居宅療養管理指導について令和2年度から3年度にかけて利用者数の計画値が下がっていますが、コロナの状況を踏まえてのことでしょうか。

事務局

計画は3年ごとに見直されており、平成30年度から令和2年度までが第7期、令和3年度からが第8期になります。資料の上段の数字が実績ですが、第7期の実績に基づき第8期の計画を立てています。コロナの影響は考慮せずに推計しています。第9期に関しては、今後国から推計方法が示されますので、そちらに従ってまいります。

会長

ありがとうございました。それでは、議題(2)につきましては、終了いたします。

会長

次に、議題の(3)、大垣市高齢者福祉計画（第9期介護保険事業計画）の策定について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

《資料No.4により説明》

会長

ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

会長

特にご意見もないようですが、このほか全体を通じて、何かございましたらご発言をお願いいたします。

事務局

本日議論いただいた内容について補足させていただきます。

介護サービス相談員につきまして、ケアマネとは違い、サービス利用者の視点で見ていただくものです。事業所と相談員と市役所が一緒になってサービスの向上を図ることが目的で、非常に重要な制度であると思っています。

## 会 議 録 要 旨

また、小規模多機能型居宅介護についてですが、利用が増えていないのは事実です。ただし、市が制限をしているわけではなく公募もしております。手が挙がらないのは十分なサービス提供をするだけの介護人材が不足していることが原因で重要な問題だと考えております。3年に1度の介護報酬改定が今年の12月にありますので、介護サービス事業所が十分に経営できる報酬額が設定されることを強く願います。

最後に、サービスを利用する場合にケアマネが変わってしまうことについては制度上の課題ですので、国と地方自治体と議論をしてよいご報告ができればと思っています。

会 長

大垣市の人口を見ると、75歳以上の人口は増えているのに65歳以上の人口は減ってきているという現実があります。今後前期高齢者の方々も増えてこない時代になってきたかなと感じています。そのような状況の中で、介護保険サービスを適切に行うことと費用のバランスを考えながら、この地域の介護について考えていきたいと思えます。

そのほか、特にご発言もないようですので、最後に、事務局からお願いいたします。

司 会

ありがとうございました。次回は10月4日に、第2回の会議を開催予定でございますので、よろしくお願いいたします。なお、次回の会議では、高齢者福祉計画（第9期介護保険事業計画）の策定について、ご協議いただきたいと思えます。

それでは、これもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様、誠にありがとうございました。